

## 2. 理念, 目的等

### 1 岡山大学の理念 “高度な知の創成と的確な知の継承”

人類社会を安定的, 持続的に進展させるためには, 常に新たな知識基盤を構築していかねばなりません。岡山大学は, 公的な知の府として, 高度な知の創成(研究)と的確な知の継承(教育と社会還元)を通じて人類社会の発展に貢献します。

### 2 岡山大学の目的 “人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築”

岡山大学は, 「自然と人間の共生」に関わる, 環境, エネルギー, 食料, 経済, 保健, 安全, 教育等々の困難な諸課題に対し, 既存の知的体系を発展させた新たな発想の展開により問題解決に当たるといふ, 人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築を大学の目的とします。

このため, 我が国有数の総合大学の特色を活かし, 既存の学問領域を融合した総合大学院制を基盤にして, 高度な研究とその研究成果に基づく充実した教育を実施します。

### 3 岡山大学の教育理念・目標

岡山大学は, 大学が要請される最重要な使命である教育活動を充実させます。

これまでの高度な研究活動の成果を基礎として, 学生が主体的に“知の創成”に参画し得る能力を涵養するとともに, 学生同士や教職員との密接な対話や議論を通じて, 個々人が豊かな人間性を醸成できるように支援し, 国内外の幅広い分野において中核的に活躍し得る高い総合的能力と人格を備えた人材の育成を目的とした教育を行います。

#### 教育理念

- ・自然と人間の共生を希求する。
- ・多様な文化・価値観を尊重する。
- ・地域と世界の発展に寄与する。

#### 教育目標

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| ・探求・創造する知性の育成     | —自ら問いかけ学ぶ教育—       |
| ・豊かな教養と高度専門性の追求   | —知の体系に根ざし専門を伸ばす教育— |
| ・異文化理解に基づいた国際性の獲得 | —様々な文化・民族に親和する教育—  |
| ・社会的責任を担いうる個の確立   | —自己と他者を認め合う教育—     |

### 4 医学部アドミッションポリシー

#### 【教育内容・特色】

医学部は, 高度な教養, 専門性, 情報力, 行動力および自己実現力を身につけて, 未来の医療を担い医学をリードする医療人と医学・保健学研究者を育成します。医学は, 人類の健康と福祉に貢献することを使命とします。従って, その育成には, 医学に関する知識と技術の修得とともに豊かな人間性の教育が強く求められます。わたしたちは「あなたのそばに先進医療」を原点理念とし, その実現に向けて特色ある教育を行っています。

## 【求める人材】

医学部では、未来の医療と医学を支える医療人および医学・保健学研究者にふさわしい人として、各学科・専攻で実施される専門教育の学修に必要な基礎学力とコミュニケーション能力を有し、医療人および医学・保健学研究者としての知的探究心と高い志を持ち、入学時点に相応した倫理観と豊かな人間性を備えた人を求めています。入学後の学修のため、高等学校において修得していることが望まれる教科は、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語です。

## 保健学科

### 【教育内容・特色】

医学部保健学科には、看護学、放射線技術科学、検査技術科学の3つの専攻がありますが、3専攻に共通して、ヘルスケアの専門家になるべく、医学を包含する保健学について、段階的・体系的・包括的に学びます。そのことを通して、次のような能力の発展・向上を目指します。

- ・人間性に富む医療のための豊かな教養を身につける能力
- ・様々な健康状態にある人々の健康推進のための専門性を習得する能力
- ・健康ニーズに応え、発信する能力
- ・医療・保健に関するリーダーとして行動できる能力
- ・健康的な生活を自己実現する能力

医学部保健学科の教育内容には次の特色があります。

4年間かけて、医療従事者として最も重要な「チーム医療」の理念と実際に体得するための演習や、保健学に関する専門教育科目を多く履修し、各専攻の専門領域の基礎知識を学びます。さらに、本格的に附属病院等で臨地実習を受け、実習と平行して、指導教員毎に研究室に配属され、ゼミナール形式で、研究の基礎を学ぶとともに、教員の指導の下に卒業論文を完成させます。

最終的には、それぞれの専攻が目指す国家資格（看護師、保健師、診療放射線技師、臨床検査技師等）の国家試験が行われ、基本的には全員が目指す職種の試験を受験することになります。

## 【求める人材】

1. 高い倫理観と豊かな人間性や感性をもつ人
2. 好奇心にとみ、自由な発想と知的探究心の強い人
3. 自らの課題に主体的に取り組み幅広く学ぶ意欲のある人
4. 他者への共感と洞察力を備え、細やかな心遣いのできる人

入学後の学修に向けて高等学校卒業レベルの総合的な基礎学力、論理的な思考力と分析力を養ってください。特に、生命や複雑な自然現象を理解するために、総合的な国語力、理科（物理、化学、生物）に関する基礎的な力を身につけてください。

## 【選抜の基本方針】

### ・一般入試（前期日程）

高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。大学入試センター試験では5教科7科目、個別学力試験では数学・理科2科目（看護学専攻では理科1科目）及び英語を課し、医療・保健に関する健康科学を学ぶ上で基盤となる科目への理解度と応用能力を評価します。

### ・一般入試（後期日程）

高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。大学入試センター試験では5教科7科目、個別学力試験では小論文と面接を課し、医療・保健に関する健康科学を学ぶ上で重要な、論理的思考力、読解力、記述・表現力を評価します。

### ・推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さないもの）

書類審査（調査書・推薦書・志望理由書等）・小論文・面接を課します。書類審査では専門領域についての関心と学習意欲を評価します。小論文では理系・文系に偏らない総合的な基礎学力を重視し、論理的思考力、読解力、記述・表現力を評価します。面接では、大学で学ぶ目的意識と意欲、自己表現力やコミュニケーション能力、理解度など、医療・保健に関する専門性を習得する上での適性を評価します。

### ・社会人入試

書類審査（調査書・志望理由書等）・小論文・面接を課します。書類審査では専門領域についての関心と学習意欲を評価します。小論文では理系・文系に偏らない総合的な基礎学力を重視し、論理的思考力、読解力、記述・表現力を評価します。面接では、大学で学ぶ目的意識と意欲、自己表現力やコミュニケーション能力、理解度など、医療・保健に関する専門性を習得する上での適性を評価します。

### ・私費外国人留学生特別入試

日本語留学試験を課し、基礎的な日本語能力を評価します。学力検査では数学・理科2科目（看護学専攻では理科1科目）で日本人受験生と同一の試験を課し、基礎的知識、応用力、理解度を評価します。日本語による小論文では総合的な基礎知識、論理的思考力、読解力、記述・表現力を評価します。面接では大学で学ぶ目的意識と意欲、自己表現力やコミュニケーション能力など多面的な質問を行い、医療・保健の専門性を習得する上での適性を総合的に評価します。

### ・国際バカロレア入試

書類審査により、成績評価証明書、自己推薦書、評価書を通して、基礎学力、自己表現力、意欲を評価します。また面接では、医療・保健に関する専門性を習得する上での適性を評価します。

## 5 医学部カリキュラムポリシー

医学部では、本学部ディプロマポリシーに掲げる学士力（人間性に富む豊かな教養、目的につながる専門性、効果的に活用できる情報力、時代と社会をリードする行動力、生涯に亘る自己実現力）を備えた医療人を育成するため、教養教育科目と専門教育科目で構成される体系的なカリキュラムを提供しています。1年次には、外国語、リベラル・アーツ、スポーツなどの全学規模で実施される教養教育に加え、専門教育の基本となる知識や技術について学びます。2年次以降、各学科においてより専門性の高い専門科目を履修するとともに医療機関等における実習が始まり、大学教育としてのカリキュラムの成果は、国家試験の受験に十分耐え得るものとなっています。

## 6 医学部保健学科カリキュラムポリシー

医学部保健学科は、看護学、放射線技術科学、検査技術科学の3つの専攻があり、授業科目は大きく教養教育科目と専門教育科目に分かれています。科目は、医学部保健学科のディプロマ・ポリシーを達成するために、体系的に学べる構造で組み立てられています。

1年次には、外国語、リベラル・アーツなどの教養教育科目に加え、医療の基本となる各専攻に共通する知識や技術について学びます。また、これに加えてそれぞれ専門のイントロダクションを学びます。また、医療従事者として最も重要な「チーム医療」の理念と実際を体得するための演習も必修科目となっています。

2年次からは、教養教育科目を学びながら、一方で「講義」や「演習」・「実験」などの専門教育科目をより多く履修し、各専攻の専門領域の基礎知識や技術を学びます。2年次からの「講義」「演習」・「実験」では、能動的学修が多く取り入れられ、課題探究型学習が増えていきます。

3年次からは、より専門性の高い専門教育科目を履修するとともに、多くの専攻で、本格的に附属病院等で臨地実習が開始されます。

なお、2・3年次のいずれかで、4学期制を活用して留学・インターンシップなど長期間の学外活動にチャレンジできる機会も設けられています。

4年次には、実習と平行して、指導教員毎に研究室に配属され、ゼミナール形式で、研究の基礎を学ぶとともに、教員の指導の下に卒業論文を完成させます。さらに、開講される医療系学部共通科目においては、臨地実習とは視点の異なる医療の最前線や実際を学ぶ機会を提供し、専門性を高めます。

4年生の後半には、それぞれの専攻が目指す国家資格（看護師、保健師、診療放射線技師、臨床検査技師等）の国家試験が行われ、基本的には全員が目指す職種の試験を受験することになります。大学教育としてのカリキュラムの成果は、国家試験の受験に十分に耐え得るものになっています。

### 「人間性に富む医療のための豊かな教養」を涵養するために

●自然や社会の多様な問題に対して関心を持つ態度を育成するために、自然科学のみならず、豊富な社会科学・人文科学系の教養教育科目の中から多様な科目が受講できます。

●論理的思考力・判断力・創造力を身につけるため、リベラル・アーツを重視するとともに、情報処理科目も全員が履修できますし、受講が奨励されています。

●人間性や倫理観に裏打ちされた豊かな教養を身につけるために、Humanities（人文科学）を重んじるとともに、専門課程において、医療者として相応しい人間性や倫理観を養うことができるような実習を行っています。

#### 「あらゆる人々の健康推進のための専門性」を習得するために

●患者に限らず、あらゆる人々の健康的な生活を実現するための専門的学識を身につけるために、医学・保健学に共通する専門教育科目を、主として1・2年次に配当しています。

●科学の進歩を健康に関わる技術開発や問題解決に活用し、社会に貢献できるようになるために、各専攻の学問分野（看護学、放射線医学、臨床検査医学）の最新成果を学べる専門教育科目を3・4年次に配当するとともに、卒業研究を行う中で、自らがこうした技術開発につながるような専門分野をさらに深めることができるカリキュラムとなっています。

#### 「健康ニーズに応え、発信する情報力」を培うために

●住民や患者の健康ニーズに応えるとともに、自然や社会の情報を多角的に収集・分析する能力を身につけるために、1年次に保健科学入門と情報処理科目が準備されています。また保健統計について学ぶ機会も設けられています。

●分析した成果を地域や世界に向かって情報発信する能力を培うために、その基礎となる外国語科目を学ぶとともに、IT技術、コンピューター・リテラシーが身につく教養教育科目が準備されています。

#### 「医療・保健に関するリーダーとしての行動力」を身につけるために

●医療チームの一員として必要なコミュニケーション能力を身につけるために、ガイダンス科目「チーム医療演習」が1年次に配当されており、座学では得られないコミュニケーションの力を涵養します。

●世界に貢献できる国際感覚や言語力を身につけるために、ネイティブに学べる外国語科目を1・2年次に履修します。また地域住民とのコミュニケーションを図る能力を養える実習科目も一部専攻では準備されています。

●個人として、また、チームとして時代と社会をリードする行動力を身につけるために、卒業研究に代表される多くの演習科目の中で、スモールグループのリーダーや各種役割を担う機会が設けられています。

#### 「健康的な生活を追いつける自己実現力」を育成するために

●患者や住民から信頼を寄せられるような豊かな感性と文化やスポーツを享受する姿勢を持った医療人として、生涯に亘って学び、楽しみ、自己実現をはかるために、スポーツ実習が用意されています。

●参加型の実習により、学生が目指す専門職（看護職、臨床検査技師、診療放射線技師等）に身近に接することで、そうした専門職業人が享受している文化やスポーツの一端をロールモデルとして体感でき、自らの生き方の指針とできます。

## 7 岡山大学医学部ディプロマポリシー

### ・人間性に富む豊かな教養【教養】

医療人として自然や社会の多様な問題に対して関心を持ち、人間性や倫理観に裏打ちされた豊かで国際的な教養を身につけている。

### ・目的につながる専門性【専門性】

健康・医療に関する専門的学識と時代を担う技術を身につけ、国際社会に貢献できる。

### ・効果的に活用できる情報力【情報力】

必要に応じて自ら健康・医療に関する情報を収集・分析し、効果的に活用し、グローバルな情報発信できる。

### ・時代と社会をリードする行動力【行動力】

国際的に活躍できる医療人としてのコミュニケーション能力を有し、医療チームの一員として責任を持った行動ができる。

### ・生涯に亘る自己実現力【自己実現力】

自立した世界に通用する医療人として絶えず医療の質の向上に努め、生涯に亘り自己の成長を追求できる。

## 8 医学部保健学科ディプロマポリシー

### ・人間性に富む医療のための豊かな教養【教養】

自然や社会の多様な問題に対して関心を持ち、信頼される医療人として論理的思考力・判断力・創造力、および、人間性や倫理観に裏打ちされた豊かな教養を身につけている。

### ・あらゆる人々の健康推進のための専門性【専門性】

あらゆる人々の健康的な生活を実現するための専門的学識を身につけるとともに、科学の進歩を健康に関わる技術開発や問題解決に活用し、社会に貢献できる。

### ・健康ニーズに応え、発信する情報力【情報力】

住民や患者の健康ニーズに応えるために、自然や社会の情報を多角的に収集・分析すると共に、成果を地域や世界に向かって情報発信する能力を有している。

### ・医療・保健に関するリーダーとしての行動力【行動力】

医療チームの一員として必要なコミュニケーション能力、および、地域や世界に貢献できる国際感覚や言語力を有し、個人として、また、チームとして時代と社会をリードする行動力を身につけている。

### ・健康的な生活を追いつける自己実現力【自己実現力】

患者や住民から信頼を寄せられるような豊かな感性と文化やスポーツを享受する姿勢を持った医療人として、生涯に亘って学び、楽しみ、自己実現がはかれる。

## 9 大学院保健学研究科3つのポリシー

岡山大学大学院保健学研究科は、医学部保健学科で行われる学部教育に接続する、より高度な教育機関としての面と、広く保健学という学際性の高い学問を学べる開かれた大学院という面の両面を有しています。つまり、学部で学ぶ看護学、放射線技術科学、検査技術科学という各学問領域をさらに深める場である通常の大学院に加えて、医療チームの主要メンバーである看護師、保健師、助産師、診療放射線技師、臨床検査技師等が、より高度な専門性を身につけ